

すこやかちゃん



りく
陸ちゃん(平成18年7月6日生)
両親＝伊藤修平・教子さん〔ハ〕
「ぼくのバンザイ」

かわいいでしょ。」

ゆい き
結輝ちゃん(平成18年9月5日生)
両親＝齋藤淳司・よしかさん〔口〕
「ぼくの寝返り、みんな見て!!」

いつもニコニコ結輝くん！」

い ぶき
泉吹ちゃん(平成18年11月17日生)
両親＝越川 康・陽子さん〔鍋木〕
「パパとママの大切な宝物です。
これからもスクスク育ってね♡」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



紙上展示室 ―旭モノ語り― 第二十六回

下総国海上郡六ヶ村新田組合絵図

旭市ガイドマップを眺めてみると、一つの地区で浜と岡との両方に同じ字名の区域がいくつかあることに気がつきます。

かつては、海岸に面した漁場や塩田、山林原野での燃料採集など、離れた集落からでもその利益を受けられるよう、利用権が取り決められていました。そうしたしくみを「入会」といいます。ことに、国土開発の全盛期だった江戸時代には多くの入会野、入会浜が生まれました。

市内で、この痕跡をまざまざと残すのが、銚子市に隣接した台地上のエリアです。飯岡地域の行内、平松横根、萩園、三川の五つの村の開墾地に当たり、これに隣接する境村の開墾畑を加え、「六ヶ村新田」と呼ばれた場所です。開墾願いが出されたのは延宝三年(一六七五年)、このころ、樺海開発の成功を目の前にしたこと、また前年には銚子側の九ヶ村と村境をめぐる訴訟でこの六ヶ村が勝訴したことなど、開発への意欲が高まったときでした。

この新田絵図は、六ヶ村が立ち会って作成されたものです。しかし、この土地、もともと荒蕪地でもあり、猪と鹿による被害が多発、思ったほどの収穫が得られず、長年苦勞の連続。天明の飢饉でも大きな被害を受けました。



行内の向後太郎兵衛家には、この絵図をはじめ、数十点にもわたる開発記録が伝わっています。度重なる年貢免除の願書、境界論争、終わることのない獣害との闘い。モザイクの地図はそんな歴史の象徴かもしれません。大原幽学記念館で開催中の企画展「耕地を拓く」で関連資料を展示中です。

現在は、土地改良により猪よけの土手もなくなり、見事なキャベツ畑、大根畑が広がります。それにしても、豊かな大地を夢見て、三三〇年前、開発願いを出した人々も、風力発電の風車が、この地のランドマークになるなんてさすがに想像しなかったでしょうね。

※参考文献「飯岡町史」

「大原幽学記念館 猪野映里子」

暮らしのカレンダー

- 7日(金) 二中体育祭
- 8日(土) 中学校体育祭(一中・海上中・飯岡中・干潟中)
- 15日(土) 小学校運動会(干潟小・富浦小・矢指小・共和小・豊畑小・鶴巻小・滝郷小)
小学校運動会および地区体育祭(琴田小・萬歳小・中和小・古城小)
- 17日(月) 敬老の日・敬老大会
- 22日(土) 三川小・飯岡小運動会
- 23日(日) 秋分の日
- 29日(土) 中央小・嚶鳴小運動会

編集後記

74年ぶりに国内最高気温を更新した今年の夏。さすがに暑い日が続きましたが、ようやく朝晩涼しくなり、ぐっすり眠れるようになってきました。さて、市内のほとんどの小中学校では、今月から新学期が始まります。朝、夕には、夏休みを満喫したであろう、真っ黒に日焼けした子どもたちの姿を多く見るようになります。夏休みの思い出をいっぱいに詰め込んで元気に学校に通う子どもたちを見たら、こちらも元気になってくるから不思議です。

(S)